

『主な事業』

新型コロナ対応予算

1. 市立小中学校端末機器整備事業…………… 1億1122万円  
感染症等の発生による臨時休業等でも学習できるよう、児童生徒の一人一台タブレットとモバイルルーター端末の購入等を行い、貸与する。
2. ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業……………6184万円  
新型コロナウイルス感染症への支援として、収入が減少するなど、一定の要件を満たす世帯に給付を行う。
3. タクシーデリバリーサービス（ホヤデリ！）補助事業（増額）……………480万円  
市内タクシー事業者に対し宅配料にかかる補助金を増額し、実施期間を本年9月まで延長するもの。
4. 気仙沼市飲食店応援商品券（ホヤチケ！）事業（増額）……………650万円  
本年5月に開始した、市内飲食店が販売する2割増商品券（3,000円券を2,500円で販売）の割増分を補助する事業で、1万組分を増額するもの。
5. 亀山園地整備事業…………… 7090万円  
三陸復興国立公園に指定されている亀山山頂付近の施設のリニューアルの検討及び一部着手。
6. 防災物資集積配送基地整備事業…………… 6億730万円  
大規模災害の発生に備えて、防災資機材の備蓄、支援物資の集積及び配送拠点となる防災物資集積配送基地を市内3カ所に整備するもの。

今期定例会に提出された令和元年度一般会計補正予算は、歳入歳出予算に11億9334万4000円を追加するもので、議員全員で構成する一般会計予算審査特別委員会での審査の結果、原案のとおり可決しました。

また、定例会最終日に追加提案された新型コロナウイルス感染症への対応を含む13億7786万5000円を追加し、予算総額は866億7027万4000円となりました。

質疑の主な内容は次のとおりです。（一部を掲載）

一般会計  
予算審査

コロナ禍の経済対策

市経済と家計回復へ

25億7120万円を追加補正

民生費

**問** 9400万円を計上した（仮称）面瀬保育所整備事業について、敷地造成の入札を9月に行う予定ですが、今後のスケジュールを伺います。

**答** また、民営化のガイドライン策定が9月ということでしたが、民営化するかどうかの検討は策定後になるのですか。

**問** 民営化を基本方針としており、（仮称）面瀬保育所については、民営での整備を検討しています。

**答** 開所については、当初予定していた令和4年4月は難しい状況であり、令和5年度開所の予定で進めていきます。

**問** プロジェクト1・90市民交流ワーキング等の運営を委託することですが、委託先の選定はどのように行うのですか。

**答** 委託先の選定はこれからですが、市内で子育て支援やまちづくりに携わっているところで、マネジメントが可能な団体

をお願いしたいと考えています。

農林水産業費

**問** 沿岸漁業担い手対策支援事業について、石巻の団体に委託した漁師学校の開催回数を増加する等の取り組みの強化を行うようですが、地域によって文化の違いもあると考えます。現在の状況を伺います。

**答** 年度当初は新型コロナウイルスの影響により、石巻からの移動を控えていましたが、現在は市内の各浜等に出向き、ヒアリング等を行っています。地域、浜によって考え方に違いはありますが、後継者育成等への問題意識は高いと感じています。今後は主体となる宮城県漁業協同組合と協議の頻度を上げ、急ぎ事業を実施していきたいと考えています。

商工費

**問** 亀山園地整備事業について、計画段階で地元の見取り入れられるべきと考えますがいかがですか。

**答** 委託業者が決まりましたら、地元の方々からヒアリングし、広くご意見を伺う予定です。

**問** 半造レストハウス改修事業について、改修理由を伺います。

**答** 昭和40年に建築し、老朽化が進んでいます。オルレのゴール地点という重要な位置にあります



築55年が経過する半造レストハウス

が、機能を果たしていないという現状から、今年度はゴール地点としてふさわしい施設の在り方などの計画策定に注力し、次年度以降整備していき

大島観光コンテンツ

企画開発事業で、観光資源を活かしたツアーを実施することですが、詳細を伺います。

観光推進機構の地区

戦略部会では、市内それぞれの地区毎に特徴を際立たせていきたいと考えています。大島地区では、特に青年部が星空を売りにするべく頑張っています。橋が架かったことにより、来訪しやすくなる一方、宿泊が減少する恐れがあることから、星空観賞という夜のコンテンツを売り出すことにより、宿泊に繋がっていきたくて考えており、そこを後押しするものです。

また、ガイドのスキルアップを図りつつ、将来的に事業化できるかモニターツアーも行います。

ホヤデリ、ホヤチケの期間延長について、財

源が一般財源となっており、国の臨時交付金を利用しないのですか。

国の第2次補正がまだ決まっていない段階での予算調整であることから、一般財源での事業として行います。

この事業は、新型コロナ

ナウイルスへの経済対策として、国の第1次補正が出る前に市の予備費を利用して、先行して進めていた事業です。

間もなく予算がなくなることから、切れ目なく事業を行うため、今回の



美味しい経済対策でまちを元気に

補正予算に計上し、国の補正予算成立に伴い、交付金の追加配分額が示されましたので、財源の組み替えを行う予定です。

また予算を使い切ったら、再度増額するのですか。

今後の状況を見ながら

判断していきます。

土木費

南気仙沼地区外被災

市街地復興土地地区画整理事業区域内に案内看板を設置することです

が、どれくらい設置するのですか。

総数で23基を予定しています。内容は、道路の方面を案内する看板です。

消防費

地域防災計画の改訂

に、感染症への対応を盛り込んでいくべきと考えますがいかがですか。

避難所の運営や収容に関する計画において、感染症への対策を前提と

して改訂していきたいと考えています。

防災物資集積配送基地を3カ所に整備するにあたり、気仙沼地域の整備場所を市総合体育館の敷地とした理由を伺います。

五右衛門ヶ原運動場

や旧気仙沼西高校など数カ所を検討し、復興庁と協議をした結果、交通の便が良く、他の防災機関と連携を図れ、市内最大の避難所と近接し連携が図れることなどを考慮して決定しました。

災害時以外の普段の

利用方法について、どのように考えていますか。

防災に関係する会議や講習会などに利用する案を考えています。

教育費

寄附金により図書資料

を購入することですが、気仙沼図書館の蔵書となるのですか。

また、これまでに唐桑・本吉図書館への寄附は

あったのですか。「市全体での図書購入



防災物資集積配送基地 (イメージ図)

費に使用してほしい」との寄附者の意向により、3館にまんべんなく購入します。

気仙沼図書館については、旧館当時から市内の各事業者に寄附を募り、寄贈文庫として毎年一定の額の図書を寄贈いただ

いてきた歴史があり、現在も数社から継続して寄贈をいただいています。本吉図書館には、震災以降、IT企業から継続して寄附金をいただいています。本吉・唐桑両館とも、震災後はたくさん

の支援をいただいています。寄附については、寄附者の意向に基づいて使

す。市が小中学校で行ったアンケートでは、約84%の家庭でWi-Fi環境があると回答しています。

市立小中学校端末機器整備事業について、Wi-Fi環境が整っていない家庭に貸与するモバイルルーターの台数を1282台とした根拠を伺います。

国の調査に基づき、

Wi-Fi環境の整っていない家庭が児童生徒数の35%と見込んで予算を計上しました。

市のアンケートはその後に行っており、購入にあたっては、改めて必要数量を精査します。

障がいをお持ちの児童生徒のタブレット端末の整備、支援についてどのように考えていますか。

機器を配置して終わ

りではなく、それを使って、子どもたちのために教職員が工夫して学びを保障することが目標となることから、今後、状況に応じて支援していきま

す。